

東京教区パワーシフト・キャンペーン

ニュースレター No.7

わたしたちにできること

既報の通り、本キャンペーンは6月まで延長することになりました！今、あらためてキャンペーン開始時に皆さまにお伝えした内容を引用し分ち合います。（以下、呼びかけ文より引用）

『このキャンペーンは、各教会・礼拝堂の電力を、自然エネルギー、再生可能エネルギーへとシフトすることを目指しています。

宣教の5指標の一つに、「被造物の本来の姿を守り、地球の生命を維持・再生するために努力すること」とあります。本キャンペーンは、この指標及び①すべての被造物がいのちを大切にしよう世界へ ②二酸化炭素削減 ③2020年10月日本聖公会第65（定期）総会で決議された「『原発のない世界を求める国際協議会』の声明に賛同する」という3つの観点に基づき開催するものです。

人間は生きるため、地球、宇宙のあらゆるものからエネルギーをいただいています。人間は歴史のなかで、そのエネルギーを得るために、自然を拓き、火力発電、原子力発電などを開発し、利用してきました。しかし、今、この歴史の結果として、自然は破壊され、原子力発電は命に直接的な危険を及ぼす事故を起こしてしまいました。破壊へと繋がってきたこれまでの歩みは、すべての被造物を祝福した神の思いと反するものであったことを素直に認め、反省とともに、行動を新たにする必要があります。このような取り組みは、神からの命を大切にしようとする教会こそが、率先して世界に訴えて来るべきことでしたが、残念ながらそうはなっていません。むしろ、世界中の良き思いを抱いた人々により動きが起こっています。教会はその知恵と経験に学ばせていただきながら、遅まきでもこの取り組みを開始して参りましょう。』（以上引用）

今これを分ち合うのは、礼拝休止期間中で目にしておられない方が沢山おられたであろうことと、半年以上経過して、各教会・礼拝堂のみならず、個人の行動変革がより一層求められる状況になっているからです。すべての被造物がいのちを大切にしよう世界のために、「わたしたちにできること」をあらためて考え、実践していくべく、共に取り組んでまいりましょう！

ニュースレターアーカイブ をぜひご覧ください！

礼拝休止期間中に出された、本キャンペーンのニュースレターをご覧いただけていない方もおられることと思います。過去に発行されたものは、東京教区HPトップページの右側の「東京教区パワーシフト・キャンペーン」のバナーから入っていただくことができます。QRコードからもどうぞ！



◆生活の中で「できること」◆

◆電力消費量が多く、電気の市場価格も上がっている今、私たちにできることは？以下に、FoE JAPAN パワーシフトキャンペーン事務局HPの記事をご紹介します。さらに詳細をご覧になりたい方は、同HPをどうぞ！

『でんきの市場価格は、1日のうちでも時間によって変化しています。日本卸電力取引所（JEPX）のウェブサイト上で、毎日、翌日の価格が表示されています。（毎日10時に更新）これを見ると、朝と夕方に価格が上がり、夜間や昼間（10時から16時前ごろ）には、少し価格が落ちついています。1月下旬には、夜や昼間の価格さえも上がっていることが大きな問題です・・・！再エネ新電力を利用の方は、単価が一定のプランの場合、高騰している時間に多くの電気が使われれば、電力会社の負担が大きくなります。そのため、例えばこんな方法で、可能な範囲で、電気の使用時間をシフトしてみましょう。

- ・無理のない範囲で節電を。
- ・電気を使う家事などは、比較的価格の落ち着く10-16時頃に。
- ・エアコンのスイッチオンは、朝は7時前、夕方は16時より前に。（起動時の電力消費が大きい）
- ・電力市場の価格状況を見ながら。（パワーシフトのツイッターでも、状況をお知らせしていきます）
- ・この記事（再エネ新電力の苦しい状況や応援が必要な状況）をシェア！
- ・切り替えの手続きを勧めるのは、4月以降がベター。

各教会・礼拝堂にアンケートをお送りしました！

各教会・礼拝堂宛に、東京教区パワーシフト・キャンペーンのアンケートをお願いすることになりました。一人ひとりにご回答いただくものではありませんが、各教会・礼拝堂への呼びかけを知っていただく上でも、また、ご自分の生活と照らし合わせてみると有効かshれないとも思い、アンケートの内容を共有致します。

以下、アンケートより

■ 東京教区「パワーシフト・キャンペーン」を開始して、約半年が経ちました。既にいくつもの教会から、パワーシフトを行ったとのご報告をいただいています。一方、検討した結果、実施を見合わせた教会、あるいは、進め方が未だよくわからずに検討の機会を持たずにいる教会など、それぞれの事情があることと思います。事務局では、アンケートによって各教会・礼拝堂の状況やご意見を聞かせていただき、差し障りの無い範囲で情報を共有して、自然エネルギーについて考え続けることや、それぞれができることへの取り組みを継続していきたいと考えています。

※お答えいただくのは、牧師・管理牧師でなくとも、それぞれの状況の中で適切と思われる方に、ご無理のない範囲でお願いいたします。

■ アンケート（概略）

【パワーシフトをおこなった教会・礼拝堂】

質問：実施を決めるにあたって、ご苦労されたこと・注意を払ったことがありますか

質問：パワーシフト先の会社名とその会社に決めた理由は何ですか

質問：そして実施後、今思うことを聞かせてください

【検討して実施を見合わせている教会・礼拝堂】

質問：実施を見合わせた理由あるいは経緯を聞かせてください

質問：教区事務局が何かお手伝いできることがありますか（専門家を紹介するなど）

【検討の機会が持てない教会・礼拝堂】

質問：どのような状況で検討の機会が持てなかったのでしょうか

（コロナ禍で集まりが持てなかった、雰囲気醸成されなかったなど）

質問：今後、パワーシフトを検討していきたいと思いませんか

質問：教区事務局が何かお手伝いできることがありますか（専門家を紹介するなど）

【すべての教会・礼拝堂】

質問：電力会社の変更以外のことでCO₂排出量の削減、グリーンエコをなどのために、新たな取り組みを考えたり、実際に始めていることがあったら教えてください。

質問：他教会・礼拝堂の皆さんと分かち合いたいこと等あれば、是非お聞かせください

質問：東京教区パワーシフト・キャンペーンへのご意見や、この機会に考えたことなどありましたら、ご自由にご記入下さい

地球規模の自然破壊、気候変動を前に、個人ができることには限界があります。ひとりの行動はあまりに小さく無力さも感じてしまいます。それでも、「わたし」にできることをしていく、そして周囲の方々と協力して「わたしたち・教会」ができることを見出していけるよう行動していきたいと考えています。

